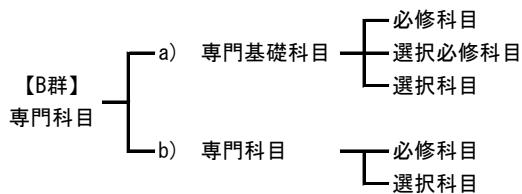


『2017年度(平成29年度)入学生用』

〔建築学部〕建築学科

School of Architecture
Department of Architecture



■建築学科 カリキュラムの編成

建築学部のカリキュラムは1・2年次と3・4年次に分かれている。1、2年次において、A群「総合教育科目」とB群「専門科目」a)専門基礎科目を学習することによって建築学の基礎的な諸分野を広く網羅的に学び、技術者として必要とされる基礎的教養科目と、建築技術者に必要とされプロフェッショナルとして備えるべき専門的知識の基礎を身につける。

1、2年次の教育により建築の多様性を早い段階で理解したうえで、3年次からは、より高度できめ細かな学科独自のカリキュラムを学びはじめる。3、4年次のB群「専門科目」b)専門科目は、建築技術者として必要とされる専門知識を学ぶ学科独自の専門科目群で、各学科、教育目標によって異なる応用的で多様な科目が細かく設定されている。これらは同時に、他学科とも相互に関連していることは留意しておいてほしい。

4年間の勉学の集大成として、自己学修能力を高め、社会での知識や技術の適用を確実にするために「卒業研究」を行う。「卒業研究」では、学生が自己の適性と将来の進路等を踏まえ、指導教員と相談の上で、「制作」または「論文」を行う。

■3年次科目履修条件、卒業研究着手条件および卒業条件

本学では、4年生までは在籍年数ごとに「学年は上がって」いく(在籍1年目は1年生、2年目は2年生、3年目は3年生、4年目は4年生となる)。これは修得単位数や、3年次科目履修条件・卒業研究着手条件の充足にかかわらない。ただし、3年生以上でも3年次科目履修条件を満たさねば3年次配当科目を履修できず、卒業研究着手条件を満たさなければ「卒業研究」を履修できない。これらの条件は3学科共通である。詳細は「履修規定と履修上の注意」を参照すること。

■建築学科への配属について

建築学部では、3年次科目履修条件の充足・未充足や休学期間の有無などにかかわらず、在籍3年目に、各学科へ配属される。建築学科に配属された学生は、以降、建築学科のカリキュラムを学習する。学科配属手続きの詳細については、1、2年次に開催するガイダンスや説明会のほか、キーポートや掲示等で周知する。配属学科は本人の希望と成績により決定される。

なお、社会における専門分野の横断的な繋がりを踏まえた深化が生じることを踏まえ、研究室登録手続きを経て履修が決定する3年後期「建築セミナー」と4年通年「卒業研究」は、所属する学科に限ることなく、建築学部のすべての研究室を希望することができる。研究室登録手続きの詳細については、ガイダンスのほか、キーポートや掲示等で周知する。

2017年度入学生用 建築学科 履修フロー

カテゴリー 授業のねらい	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期
【A群】総合教育科目	建築ロジカルライティングⅠ (2) または 総合文化アカデミックスキル (2)	総合文化アカデミックスキル (2) 建築ロジカルライティングⅡ (2)						
	美術A (2)	美術B (2)						
	a)総合文化科目	(第1類) 人間の探求 (2) × 12科目、(第2類) 社会の科学 (2) × 15科目、(第3類) 世界と日本 (2) × 12科目、(第4類) 芸術と表現 (2) × 10科目、(第5類) 科学と文明 (2) × 11科目						
	b)自然科学系科目	基礎数学 (2) または 微分積分I (2) *	微分積分I (2) * 微分積分II (2) *	物理学概論A (2)	化学概論 (2)			
	c)外国語科目	情報処理入門 (2)						
	d)保健体育科目							
【B群】専門科目	e)自由研究科目							
	f)キャリア支援科目			キャリアデザイン (2)				
	a)専門基礎科目	建築入門 基礎設計・図法 (2) 建築計画 I (2) 都市デザイン (2) 西洋建築史 (2) 構造力学 I (2) 建委構法 (2) 設備計画 (2) 社会貢献学入門 (2) 減災学入門 (2)	建築概論 建築設計 I (2) 建築計画 II (2) まちづくり論 (2) 建築計画 III (2) 都市計画 (2) 近代建築史 (2) 日本建築史 (2) 建築法規 (2) 構造力学演習 I (1) 建築構造 (2) 建築施工 (2) 建築設備工学 (2) 構造基礎実験 (2) 材料実験 (2) 環境基礎実験 (2) 測量実習 (2) 減災学入門 (2)	建築設計 II (2) 建築計画 IV (2) 建築設計 III (2) ランドスケープデザイン (2) 建築法規 (2) 構造力学演習 II (1) 構造力学 II (2) 建築構造 (2) 建築施工 (2) 建築設備工学 (2) 構造基礎実験、 材料実験、 環境基礎実験、 測量実習は 1科目のみ履修可	建築演習 (2) 建築情報処理 I (2) 建築情報処理 II (2) 建築学特別講義 (2) 建築セミナー (2) 学外研修 (2) イギリス留学準備英語 (1) 医療施設設計画 (2) 建築プロセス論 (2) 構造解析 (2) 構造設計 (2) 構造基礎 (2) 構造材料施工 (2) 内外装材料施工 (2) 建築プロジェクトマネジメント (2) 空気調和設備 (2) 給排水衛生設備 (2) 建築環境エネルギー・システム (2) 環境・設備設計 (2)	建築・まちづくり演習 (3) 建築情報処理 III (2) 建築セミナー (2) 卒業研究 (8) 地盤・基礎工学 (2) 構造デザイン (2) 鋼構造 (2) 構造設計 (2) 構造基礎 (2) 構造材料施工 (2) 生産設計 (2) 建築経済 (2) 構法設計 (2) 環境実験 (2) 電気・情報システム (2)		
	b)専門科目							
	c)選択必修科目							
	d)選択科目							
	e)前期または後期							
	f)その他				※構造基礎実験、 材料実験、 環境基礎実験、 測量実習は 1科目のみ履修可	学部の3年次科目履修条件、卒業研究着手条件、卒業条件に従い、印記以外の科目を履修することができる		

必修科目

1年次指定選択必修科目

選択必修科目

選択科目

前期または後期

建築学部建築学科

- ・○印は必修科目、△印は選択必修科目、□印は必履修科目、無印は選択科目
- ・「教職」欄に教科名・印が付してある科目は、教員免許状取得に必要な科目を示す。●印は必修科目、教科名のみは選択科目。
- 「高校一種(工業)」の免許を取得希望の学生は上記以外に、他学科開講科目で教職必修科目があるため詳細は入学年度の「教職課程の手引」を確認すること。

1) 専門基礎科目〈第B群a)〉

授業科目	単位数および標準履修学年					授業形態	教職	学位授与の方針				備考
	第1学年		第2学年		第3学年	第4学年		1	2	3	4	
	2	2	2	2	2	2		○	◎	○	○	
【B群専門基礎科目】	建築入門	2					講義	●工業	○	◎		
	建築概論	2					講義	工業	○	◎		
	○ 基礎設計・図法	2					演習	工業		◎		
	○ 建築設計Ⅰ	2					演習	工業	○	◎	○	
	○ 建築設計Ⅱ		2				演習	工業	○	◎	○	
	○ 建築設計Ⅲ			2			演習	工業	○	◎	○	
	○ 建築計画Ⅰ	2					講義	工業	○	◎		
	○ 建築計画Ⅱ		2				講義	工業	○	◎		
	○ 建築計画Ⅲ			2			講義	工業	○	◎		
	○ 西洋建築史	2					講義	工業	○	◎		
	近代建築史		2				講義		○	◎		
	○ 日本建築史		2				講義	工業	○	◎		
	都市デザイン	2					講義	工業	○	◎		
	まちづくり論	2					講義	工業	○	◎		
	○ 都市計画		2				講義	工業	○	◎		
	ランドスケープデザイン			2			講義	工業	○	◎		
	○ 構造力学Ⅰ	2					講義	工業	○	◎	○	
	○ 構造力学Ⅱ		2				講義	工業	○	◎	○	
	構造力学演習Ⅰ	1					演習	工業	○	◎	○	
	構造力学演習Ⅱ			1			演習		○	◎	○	
	○ 建築の構造		2				講義	工業		◎	○	
	○ 建築構法	2					講義	工業	○	◎		
	○ 建築材料		2				講義	工業	○	◎		
	○ 建築施工			2			講義	工業	○	◎	○	
	○ 設備計画	2					講義	工業		◎		
	○ 環境工学Ⅰ	2					講義	工業	○	◎	○	
	○ 環境工学Ⅱ		2				講義	工業	○	◎	○	
	建築設備工学			2			講義			◎		
	○ 建築法規		2				講義	工業	○	◎	○	
	△ 構造基礎実験		2				実習	工業	○	◎		
	△ 材料実験		2				実習	工業	○	○	◎	○
	△ 環境基礎実験		2				実習	工業	○	◎		
	△ 測量実習		2				実習	工業	○	◎	○	
	建築技術者の倫理			2			講義	工業		○		◎
	社会貢献学入門	2					講義		○	◎	○	○
	減災学入門	2	2	2	2	2	講義			◎		○

建築学部建築学科

- ・○印は必修科目、△印は選択必修科目、□印は必履修科目、無印は選択科目
- ・「教職」欄に教科名・印が付してある科目は、教員免許状取得に必要な科目を示す。●印は必修科目、教科名のみは選択科目。
- ・「高校一種(工業)」の免許を取得希望の学生は上記以外に、他学科開講科目で教職必修科目があるため詳細は入学年度の「教職課程の手引」を確認すること。

2) 専門科目〈第B群 b)〉

授業科目			単位数および標準履修学年					授業形態	教職	学位授与の方針				備考
			第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	計			1	2	3	4	
b) 【B群 専門科目】	共通科目	○ 建築演習			2		2	演習			○			
		建築・まちづくり演習			3		3	演習			○	○	○	
		建築総合演習				3	3	演習			○	○	○	
		建築情報処理 I			2		2	演習	数学		○	○		
		建築情報処理 II			2		2	演習	数学		○	○		
		建築実務特別講義			2		2	講義		○	○			
		建築セミナー			2		2	演習		○	○	○	○	
		学外研修			2		2	実習			○	○		
		イギリス留学まちづくり調査法			3		3	講義			○	○		
		イギリス留学建築計画			2		2	講演			○	○		
		イギリス留学建築デザインA			2		2	講演			○	○		
		イギリス留学建築デザインB			3		3	講演			○	○		
		イギリス留学準備英語			1		1	演習			○	○		
		○ 卒業研究				8	8	卒研			○	○	○	
		画建築科目計			2		2	講義			○	○		
		医療施設設計画			2		2	講義			○	○		
		建築プロセス論			2		2	講義			○	○	○	
	建築構造科目	構造解析			2		2	講義			○	○		
		構造設計			2		2	講義			○	○		
		鉄筋コンクリート構造			2		2	講義	工業	○	○			
		木質構造			2		2	講義			○	○		
		鋼構造			2		2	講義			○	○		
		地盤・基礎工学			2		2	講義			○	○		
		構造デザイン			2		2	講義			○	○		
		構法計画			2		2	講義	工業		○	○		
		構造材料施工			2		2	講義			○			
		内外装材料施工			2		2	講義			○			
	建築設備科目	建築プロジェクトマネジメント			2		2	講義			○	○		
		ファシリティマネジメント			2		2	講義			○	○		
		生産設計			2		2	講義			○	○		
		3DCAD・BIM 演習			2		2	演習			○	○		
		建築経済				2	2	講義			○	○	○	
		空気調和設備			2		2	講義	工業		○			
		給排水衛生設備			2		2	講義			○	○		
		建築環境エネルギーシステム			2		2	講義			○	○	○	○
		環境・設備設計			2		2	演習			○	○		
		環境実験			2		2	実習			○	○		
		電気・情報システム			2		2	講義			○	○		
	※ 職業指導						4	4	講義	●工業				※印の科目は教員免許状取得に必要な科目であって、「卒業に必要な単位数」に算入することはでき

2) 専門科目〈第B群 b)〉

授業科目			単位数および標準履修学年					授業形態	教職	学位授与の方針				備考
			第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	計			1	2	3	4	
b) 【B群 専門科目】	専門科目	線形代数学 I	2				2	講義	●数学	○				
		線形代数学 II		2			2	講義	●数学	○	○			
		代数学			2		2	講義	数学	○	○			
		幾何学 I		2または2			2	講義	●数学	○				
		幾何学 II			2		2	講義	●数学	○	○			
		ベクトル解析				2	2	講義	数学	○	○			
		統計学			2		2	講義	●数学	○	○			
		微分方程式論		2または2			2	講義	数学	○	○			
		複素関数論				2	2	講義	●数学	○	○			
		応用解析学			2または2		2	講義	数学	○	○			